

牧港補給地区への米軍機の飛来に関する意見書

8月1日、牧港補給地区（キャンプ・キンザー）内のヘリコプター離着陸帯を使用した米軍機の飛来が確認された。米軍によれば、飛行の練度維持に必要な定期的な訓練を実施したとのことである。平成25年に同離着陸帯へ米軍機が飛来したときは米軍及び沖縄防衛局から浦添市に事前通告があったが、今回の飛来では事前通告がなく突然の米軍機の飛来であったことから、市民に不安を与えるものであった。市には、8月2日にキャンプ・キンザーの基地司令官より、米軍機飛来の報告と市民に心配をおかけしたので今後は事前通告をすることを伝えたと言われる。また8月5日にはオーストラリアでのオスプレイの墜落事故も起きている。これについては徹底した事故の原因究明が求められている。本市議会においては、2013年12月に「牧港補給地区の早期一括全面返還を求める要請決議」を全会一致で採択している。今回の米軍によるキャンプ・キンザーでの訓練は、キャンプ・キンザーの使用の固定化や事故につながるのではないかと強く危惧されるものである。

よって本市議会は、市民の生命・財産・安全を確保する立場から、今回のような市民に不安を与える事態が今後起きないように強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年8月9日

沖縄県浦添市議会

宛先

外務大臣 防衛大臣 沖縄防衛局長